

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」 第2回推進会議の概要について

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の第2回推進会議を、平成24年11月12日（月）に開催しました。

第2回推進会議には、7名の委員のうち5名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の山田 康彦氏にご出席いただきました。

なお、第2回推進会議の概要は、以下のとおりです。

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

石川 正浩（サポーターいっちゅう 事務局次長兼広報部長）

※石川委員はご欠席

太田 浩司（三重県PTA連合会 顧問）

瀬古 久美子（松阪市立大江中学校 校長）

田尾 友児（三重県立紀南高等学校 学校運営協議会 委員）

西岡 慶子（株式会社光機械製作所 代表取締役社長）

宮路 正弘（三重県立飯野高等学校 校長）

山田 忍（スクールカウンセラー）

※山田委員はご欠席

ファシリテーター

山田 康彦（国立大学法人三重大学 教育学部 教授）

＜推進会議の進行概要＞

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 14:00

- ・教育長あいさつ
- ・自己紹介（西岡委員、田尾委員）
- ・事務局による資料の概要説明
「データからみえてくる子どもたちや学校の現状」
「いじめ問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査」の結果（速報値）
「本年度の取組の進捗状況と平成25年度の取組方向」

プロジェクト推進についての意見交換

- ・資料に基づき、意見交換を行う。

今後のスケジュール

閉会 16:30

（真伏教育長あいさつ、県事業の説明）

冒頭、真伏教育長から委員の皆さんに本日の会議について趣旨説明しました。

続いて、前回欠席された西岡委員及び田尾委員から自己紹介いただきました。

その後、事務局職員から「プロジェクトを構成する4つの実践取組における本年度の取組の進捗状況と平成25年度の取組方向」をはじめ、「データからみえてくる子どもたちや学校の現状」、「いじめ問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査結果（速報値）」について資料に基づき説明しました、

※プロジェクトで挑戦する4つの実践取組

- ①「県民総参加による学力の向上」
- ②「地域に開かれた学校づくり」
- ③「教職員の授業力向上」
- ④「安心して学べる環境づくり」



(プロジェクト推進についての意見交換)

続いて、山田教授の司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

各委員からは、日頃の活動の中で感じる子どもの学力向上にあたっての課題をふまえた意見や提案をいただくなど、活発な意見交換が行われました。

委員からの主な意見

全国学力・学習状況調査の結果をみると、全国的に「活用力」に課題があり、「活用力」を育てることが、社会を生きていくうえでは、大事である。

全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえ、この調査を意識した定期テストの実施や授業改善に取り組むこと、校区内の小中学校間でデータを共有するなどの連携を図ることなどの必要がある。

学校で「朝読」などの読書活動を行っているが、これは子どもの育ちにつながる。読書活動に学校司書の役割は大切だが、職員数が少ないので充実してもらいたい。

三重県の「弱み」を確認しつつ、「強み」を強化する取組もしなければならない。三重県は全国と比較して「授業研究を伴う校内研修」をたくさん実施

しているので、その「強み」を生かした取組を行ってほしい。

学ぶ意欲が大事であり、意欲がなければ知識も身につかず、活用にも至らない。将来の夢や目的を持っている子どもは伸びる。

地域の人による学校への出前授業等で子どもたちが様々な職業を知ること、将来の仕事を真剣に考えることにつながっていく。

家庭学習が大きなポイントになる。学校教育で成果を得るためには、保護者の教育も必要な要素である。

コミュニティ・スクール等により、地域の人が学校をどうしたいか考え、学校に関わっていくと、学校や教師、地域の人々の考え方も変わって良い方向に行く。

国際社会で活躍するグローバル人材を育てるためには、英語力と同時に、日本の文化等に対する知識も含め国語力をしっかり育成する必要がある。

いじめは学校だけでなく、社会全体で普通にあるものである。いじめを隠さず、学校・保護者・地域でなくしていくように取り組んでいくことが大切である。

いじめについては、保護者や地域に対して学校の考え方を明確に示すことが大事である。クラス全体の環境や人間関係を変えていかないといじめの問題はなくなる。

いじめのことだけでなく、生徒の悩みや困り事等も聞きたいと考えているが、教師だけでは対応できないことも増えているので、スクールカウンセラーの充実等、環境を整えてもらいたい。

など



次回（第3回）の開催予定

次回（第3回）推進会議は、本年度の取組の成果と検証と翌年度の具体的な取組に関する意見交換を行うため、2月に公開で開催する予定です。